

団体名：佐賀県日本語学習支援“カスタネット”

～Citizens from Abroad to Saga, Teaching Assistant NETWORKs～

“カスタネット”の目指すもの

1. 佐賀県に住む日本語がわからない外国籍住民の方が、日本語を学ぶことにより快適な生活を送ることができるようにする。
2. 佐賀県に住む日本語がわからず学校の授業についていけない外国につながる児童・生徒が、等しく日本語支援が受けられる日本語サポート体制作りをする。
3. 佐賀県で生活する外国籍住民の方の日本語支援の必要性を多くの方に理解していただく

“カスタネット”の活動…3つの柱で活動しています

CASTANET for Beginners

外国籍住民の方への初級日本語集中講座のコーディネート及び実施

CASTANET for Kids

外国につながる児童・生徒への日本語サポート体制づくり

- ・学校との連携：こども日本語サポーターのコーディネート及びサポート活動
- ・こども日本語教室（ボランティア教室の運営）

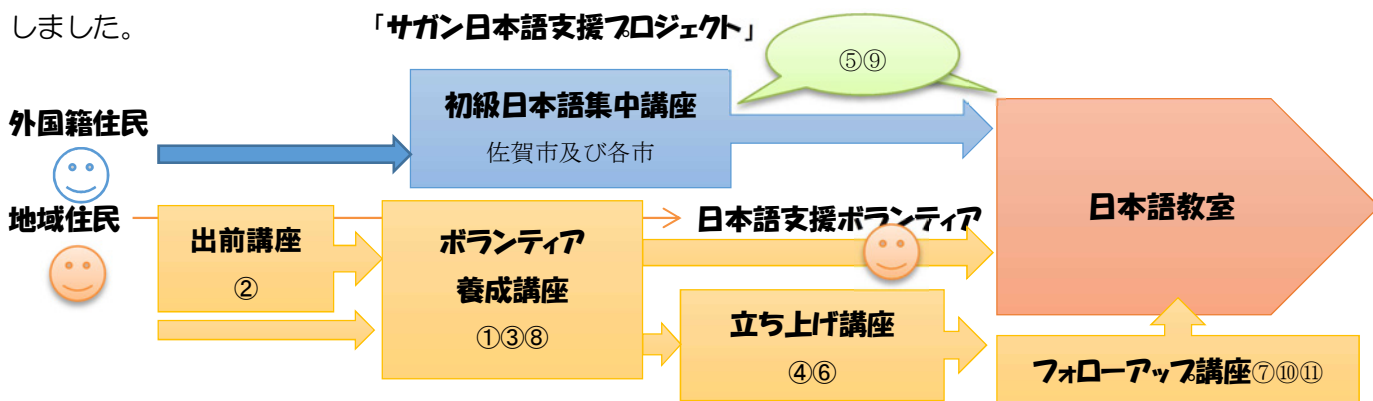
CASTANET for Supporters

日本語支援ボランティア養成講座の実施及び周知活動

【活動内容】

“カスタネット”は、平成22年に団体を立ち上げ、平成23年度より文化庁「『生活者としての外国人』のための日本語事業」の委託を受け、佐賀県在住の外国籍住民の日本語教育支援を行ってきました。その一つとして、外国籍住民の方が社会参加を果たすために必要な日本語を学べるように、専門家による集中講座を県内各所で実施してきました。これまで多くの外国籍住民の方がこの講座を入り口として社会参加を果たすことができました。また、佐賀県国際交流協会と連携し、各市町村の協力を得て、日本語教室空白地帯にいくつかの日本語教室を開設することができました。その活動の流れを以下に示しました。

「サガン日本語支援プロジェクト」



- ① こども日本語サポーター養成講座（佐賀市）（H23）
- ② 周辺地域からはじめる日本語支援ボランティア養成“出前”講座（伊万里市、多久市、神崎市、鹿島市）（H24）
- ③ 周辺地域からはじめる日本語支援ボランティア養成“連続”講座（佐賀市）（H24）
- ④ 日本語支援ボランティア養成講座 in 武雄（H24）
- ⑤ 「日本語ボランティア教室で使えるカードセット」作成（H24）
- ⑥ 日本語支援ボランティア養成講座 in 神埼（H25）
- ⑦ 日本語教室立ち上げ“後押し”講座 in 伊万里、in 鹿島（H25）
- ⑧ 日本語支援ボランティア養成講座（佐賀市）（H26）
- ⑨ 「日本語ボランティア教室活動ブック」作成（H26・27）
- ⑩ 日本語教室活性化フォローアップ講座（鹿島市）（H27）
- ⑪ 日本語文法ブラッシュアップ講座（佐賀市）（H27）



<http://1st.geocities.jp/castanetsnihongo/>

事業実施概要

事業名称	佐賀県在住の外国籍住民への日本語教育支援事業 サガン日本語支援モデル・プロジェクト2014
地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市町行政の関与が少なく、日本語教室が地域で認知されていない。 ・外国人住民と接する機会がないため、外国人住民や地域日本語教育に対し理解が進んでいない。 ・ボランティアによる日本語教育が実施されているが、週1回程度の実施であり、特に日本語初級者にとっては、学習効率が悪く、レベルが上がりにくい。 ・日本語教室がない地域が多く存在する。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教室がない地域が多く存在する。ボランティア教室がある地域で「初級日本語集中講座」を開講し、受講者を地域在住日本語支援ボランティアに託す構図をしっかりとしたものにする。各地域に立ち上げた日本語教室の活動の充実を図るために、ボランティア養成講座を開講する。日本語教室で使える教材の開発を行なうことで、外国籍住民が自立した生活ができるように支援する。市町行政の関与が少なく、日本語教室が地域で認知されていない。
事業概要	日本語教育の実施
	<p>名称：日本語専門家による外国籍住民を対象とした「初級日本語集中講座」 目的：初級レベルの外国籍住民に対し、日本語基礎文法学習を日本語専門家が集中的に行うことにより、学習者の日本語学習をよりスムーズにスタートさせ、且つ日本語学習の意欲を継続させる。 対象：来日直後の外国籍住民／長年住んでいても、日本語専門家による初期指導を受けていない、又は体系的に日本語学習をしていない外国籍住民 人数：13人(主な出身・国籍：タイ・中国・ネパール・スロベニア) 時間：1回 38時間 × 3回 (全 114時間) 内容：「1日6時間×6日(＋発表会2時間)計38時間」を1講座とし、日本語基礎文法習得(名詞文・動詞文・形容詞文・動詞活用・丁寧体・普通体を体系的に学習)の講座を県内 3か所で開催。最終日は当該地域の日本語教室のボランティアを招き発表会を行い、継続学習、継続交流のための橋渡しを行った。</p>
	日本語教育を行う人材の養成・研修の実施
	<p>名称：支援者の裾野を広げるための実践的な「日本語支援ボランティア養成講座」 目的：日本語支援ボランティアに興味・関心のある方々に対して、取り組み方や基礎知識を指導する。いろいろな活動の仕方を紹介する。実習も実施して、すぐに活動ができる人材を養成する。 対象：日本語支援ボランティアに関心のある地域住民 時間：1回 3時間 × 15回 (全 45時間) 人数：28人(出身・国籍：日本) 内容：日本語ボランティアへの取り組み方や基礎知識を指導する。いろいろな活動の仕方を紹介する。実習も実施して、すぐに活動ができる人材を養成する。</p>
成果と課題	日本語教育のための学習教材の作成
	<p>名称：「日本語ボランティア教室活動ブック」 目的：「初級日本語集中講座」後、継続学習ができるような教材が不可欠である。そこで、集中講座の内容を踏まえて、地域日本語教室で広く使用できる教材を作成する。 対象：基本的な文法は理解できたが運用力が不足している外国籍住民 構成：48ページ(文法事項の確認と対話型活動を盛り込み4技能を網羅した) 使い方：日本語ボランティア教室で、活動をする際に使用する。</p>
発表者から一言	<p>「カスタネット」はこれまでも文化庁事業でいろいろな活動を行ってききましたが、今年度は初めて教材作成を行いました。ボランティア教室で使いやすいように工夫したつもりです。主に「日本語ボランティア教室活動ブック」についてご説明いたします。</p>